BUSINESS REPORT

第66期
中間事業レポート

平成26年12月1日～平成27年5月31日

北興化学工業株式会社

証券コード：4992

To Our Shareholders

株主のみなさまへ

代表取締役社長

中島喜勝

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第66期中間事業レポートをお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期の業績につきましては、後述の「上期の事業の経過および成果」に記載しておりますが、農薬事業におきましては、自社開発原体を使用した新規水稲用除草剤の売上が伸長したこと、またファインケミカル事業におきましては、国内外の景気の回復基調に伴い受注が好調に推移したことなどから、増収増益となりました。

これも、株主のみなさまをはじめ、関係者各位のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

なお、当期の中間配当につきましては、1株につき4円とさせていただきました。

株主のみなさまにおかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年8月

上期の事業の経過および成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き企業収益と雇用の改善が進んだこと、設備投資が堅調なことから、総じて緩やかな回復基調で推移しています。しかしながら、個人消費の回復遅れや円安の定着に伴う輸入原材料価格上昇の影響が懸念されるほか、海外では新興国経済の減速、アメリカの金融緩和政策の転換による世界経済への影響などが懸念材料となっています。

このような状況のもと、当社グループは、新製品の普及や国内外における新規受注の獲得に注力するなど、販売活動を強化してまいりました。

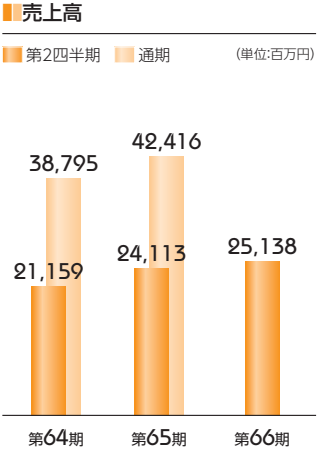
当第2四半期の業績は、売上高が251億3千8百万円（前年同期比10億2千5百万円の増加、同4.3％増）となりました。利益面では売上高の増加や生産性の向上などにより、営業利益は22億2千9百万円（前年同期比7億8百万円の増加、同46.6％増）、経常利益は23億7千万円（前年同期比9億7千3百万円の増加、同69.7％増）となりました。なお、四半期純利益は日本橋室町の再開発事業による本社移転補償金の受け入れがあったことから15億1千7百万円（前年同期比6億9千1百万円の増加、同83.6％増）となりました。

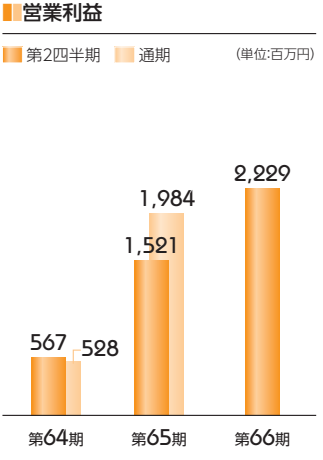
農薬事業

農薬製品は国内販売において、新規水稲用除草剤の売上が伸長したことから、増収となりました。この結果、本セグメントの売上高は182億1千5百万円（前年同期比3億6千1百万円の増加、同2.0％増）、営業利益は13億2千4百万円（前年同期比3億1千2百万円の増加、同30.8％増）となりました。

ファインケミカル事業

ファインケミカル製品の販売は、主要分野の樹脂添加剤やその他の受託品などの受注が好調に推移したことから、増収となりました。この結果、本セグメントの売上高は69億4百万円（前年同期比6億8千5百万円の増加、同11.0％増）、営業利益は8億9千8百万円（前年同期比3億9千4百万円の増加、同78.1％増）となりました。





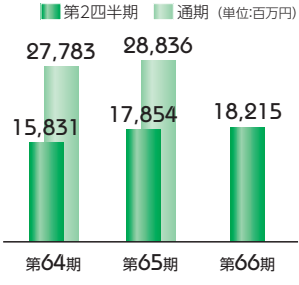
ホクコーは、製品を通じて、
全ての人々の幸せを願い
豊かな社会づくりに貢献し、
将来に向かって着実に歩んでまいります。

モットーは「種子から収穫まで護るホクコー農薬」
── 食の安全と安定供給を守る

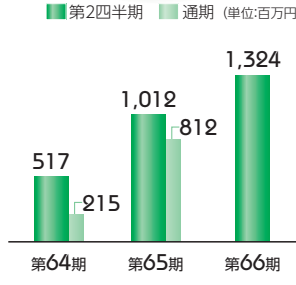
「農薬事業」

数百品目の自然環境にやさしい製品をラインアップ。
国内はもとより海外へも市場を拡大しています。

売上高



営業利益

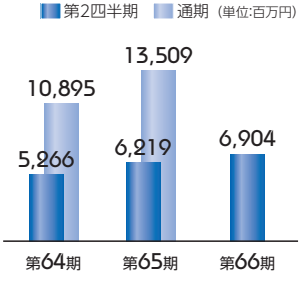


高機能、高純度の化学品開発を通じて社会へ貢献
── 先端産業、成長産業を支える

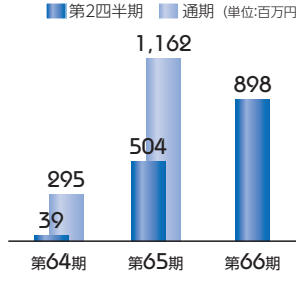
「ファインケミカル事業」

グリニャール反応の工業化技術をキーテクノロジーに
幅広い産業界からのニーズに応えています。

売上高



営業利益



通期の見込み

当社グループの通期の業績予想につきましては、当初発表どおり、下記を見込んでおります。

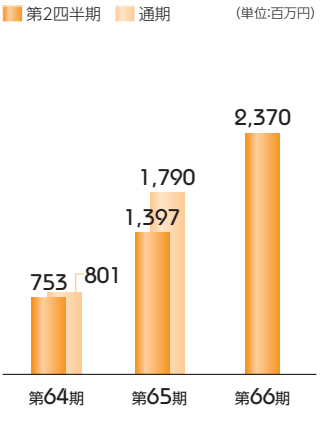
売上高	42,500百万円	前期比 0.2%増
営業利益	1,900百万円	前期比 4.2%減
経常利益	1,900百万円	前期比 6.1%増
当期純利益	1,100百万円	前期比 10.3%増

農薬事業におきましては、製造原価をはじめとする様々なコストの削減、業務の見直しによる生産性や業務効率の向上、効率的な生産体制の構築による在庫の削減により、安定した収益の確保を目指します。

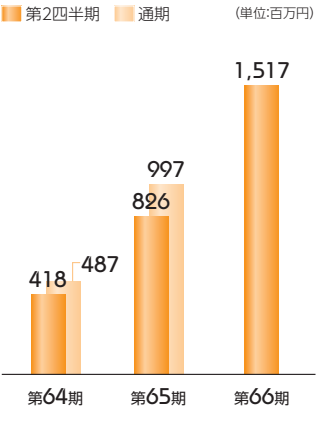
ファインケミカル事業におきましては、新製品や新規受託品の販売に注力するとともに、海外市場への販売を強化し、顧客の拡大、新規市場の開拓を進めます。

今後とも株主のみなさまの期待と信頼に応えるよう業績の向上を図るとともに、企業価値を高めてまいります。

経常利益



四半期(当期)純利益



「レスポンシブル・ケアレポート2015」を公開中

当社グループは、化学物質を取り扱う企業の社会的責任として、製品の開発から廃棄に至る全ての過程において、自主的に「環境・安全・健康」を確保する活動（レスポンシブル・ケア活動）を推進しています。平成26年度の取り組みについては、「レスポンシブル・ケアレポート」として取りまとめ、公開しています。

支店の統廃合に関するお知らせ（平成27年7月8日付機構改革）

農薬事業グループにおいて、11支店体制から秋田、富山、名古屋、高松の4支店を廃止し、7支店体制とする支店の統廃合を行いました。

「レスポンシブル・ケアレポート2015」および「機構改革の概要」につきましては、当社ホームページに掲載しています。
http://www.hokkochem.co.jp/

会社の概要 (平成27年5月31日現在)

会社の商号 (英訳名)	**北興化学工業株式会社** **HOKKO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.**
本社	東京都中央区日本橋本石町四丁目4番20号 上記は登記上の本店所在地であり、実際の本社業務は下記の場所で行っております。
創立年月日	昭和25年2月27日
資本金	32億1,395万円
上場取引所	東京証券取引所　市場第1部上場
従業員数	665名
事業所の所在地	支店　札幌、秋田、仙台、東京、新潟、富山、名古屋、大阪、岡山、高松、福岡 7月8日付で支店の機構改革を行っております。
	工場　北海道、新潟、岡山
	研究所　開発研究所(神奈川)、化成品研究所(神奈川)
	試験農場　北海道、静岡

株主メモ

事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
配当金受領株主確定日	期末配当　11月30日 中間配当　5月31日
定時株主総会	毎年2月
公告方法	電子公告(当社ホームページ) ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒137−8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 **電話　0120 - 232 - 711(通話料無料)**

北興化学工業株式会社

〒103-8341 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号
住友不動産日本橋ビル
TEL.03(3279)5151

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

VEGETABLE OIL INK

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080